

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



ガーキー・マイケル・リー先生
(アメリカウィスコンシン州)

本庁舎学校教育課 内2365

ラーメン大好き！

皆さんこんにちは。私は昨年7月に、アメリカ合衆国の中西部、五大湖地域にあるウィスコンシン州から来ました。この州は祖先にドイツ系移民が多いことからチーズやソーセージ、ビールなどが有名です。そして白河の冬も寒いですが、私の故郷ではマイナス20℃にもなるので冬の寒さは平気です。

趣味は芸術鑑賞と絵を描くことで、休日には風景画などを描いています。白河は緑が多く、故郷と似た雰囲気なのがお気に入りです。日本独自の文化やお祭りも興味があり、昨年は提灯祭りに参加してお神輿も担ぎました。

また、日本のラーメンが大好き

で、家族と週末などよく食べに行きます。おすすめのお店があったらぜひ教えてください。

皆さんどうぞよろしく願います。(次回に続く)



▲趣味で描いた水彩画（金勝寺橋）

英語で一言！

Always look on the bright side.

(いつも明るい面を見て前向きに！)

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝

Vol.11

幕末日本を歩いた白河ゆかりの絵師

高久隆古

(1810～1858)



『現存名江戸文人
人寿命附』(1850)版

江戸の著名人の紹介本。隆古は「画の名は江戸に高久」と評され、絵師として高い評判を得ています。

文政6年(1823)の三方領知替えにより阿部家が白河藩主となります。高久隆古は、この阿部家家老の川勝家に生まれました。

10代の頃から好んで絵を描いていましたが、素行が悪く家を勘当されます。放浪のうちに江戸に出て、谷文晁の門人である依田竹谷に入門しました。20代で京に上り、復古大和絵派(古典的な大和絵の復興を目指す)の絵師・浮田一恵に師事しました。江戸に戻った後は評判が高まり、のちに実家の勘当も解かれました。

《高久家の養子へ》

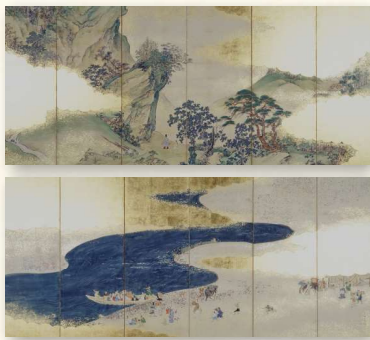
天保14年(1843)、文晁門弟の高久靄厓が跡継ぎなく急死し、周囲のすすめで高

久家の養子となりました。しかし、隆古自身は必ずしもこの縁組を望んではいなかったようです。

《旅と交友》

隆古は、京都の他、名古屋や関東、白河などを旅し、様々な人物と交流しています。例えば文晁門弟の渡辺華山に私淑し、また坂下門外の変に関わった尊皇家・大橋訥庵と交流しています。こうした交友の中で、南画、大和絵、華山風の花鳥人物画などの幅広い画風を深めたのです。

晩年には佐原(千葉県香取市)を訪れ、半年滞在しています。しかし佐原から江戸への帰途、病気で急死し、江戸谷中の天龍院に葬られました。実家・川勝家の墓は白河市の妙閑寺にあります。



伊勢物語・西行物語図屏風(白河市歴史民俗資料館蔵)

文化財課 ☎ 23310